

实用汽车日语

实用自動車日本語

陈要勤 主编
王珏 副主编



中山大学出版社

实用汽车日语

实用自動車日本語

陈要勤 主编
王珏 副主编



中山大学出版社
· 广州 ·

版权所有 翻印必究

图书在版编目 (CIP) 数据

实用汽车日语/陈要勤主编;王珏副主编. —广州:中山大学出版社, 2010. 11
ISBN 978 - 7 - 306 - 03761 - 9

I. 实… II. ①陈…②王… III. 汽车工程—日语—高等学校: 技术学校—教材
IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 197080 号

出版人: 祁 军

策划编辑: 刘学谦

责任编辑: 刘学谦

封面设计: 林锦华

责任校对: 刘学谦

责任技编: 何雅涛

出版发行: 中山大学出版社

电 话: 编辑部 020 - 84111996, 84111997, 84113349, 84110779

发行部 020 - 84111998, 84111981, 84111160

地 址: 广州市新港西路 135 号

邮 编: 510275 传 真: 020 - 84036565

网 址: <http://www.zsup.com.cn> E-mail: zdcbs@mail.sysu.edu.cn

印 刷 者: 广州中大印刷有限公司

规 格: 787mm × 960mm 1/16 11.375 印张 186 千字

版次印次: 2010 年 11 月第 1 版 2010 年 11 月第 1 次印刷

印 数: 1 ~ 4000 册 定 价: 18.00 元

如发现本书因印装质量影响阅读, 请与出版社发行部联系调换

编写人员

顾 问：刘春林

主 编：陈要勤

副 主 编：王 珏

编 委：李佳玲 刘汝衡 陈华胜

杨 敏 陈研菊 陈 婷

吴素仪

序 言

中国社会经济的发展给我国高职汽车行业的人才培养提出了挑战。要想发展我国的汽车行业，首先要尽快培养一批具备良好综合素质的应用型人才。这些人应该具备高素质、高技能和熟练的外语表达能力，应该了解汽车行业发展的前沿信息。我国高等职业技术学院正在承担这一伟大的育人工作。为此，根据社会经济发展的需要，根据高职高专实用日语教学的要求，这些在职业技术学院长期从事应用日语教学的一线教师，集众家应用日语教材之所长，紧紧抓住高职高专教育的应用型、实用性等特点，在短时间内编写了这本《实用汽车日语》。

本书很好地体现了高职高专人才培养特色，走以能力培养为本位的路线，做到理论与实践有机结合，致力于高职高专学生实用语言能力的培养，将汽车行业所需的行业资讯、产品知识、产业文化、市场营销、设计与创新等与实用日语交际的训练和技能培养贯穿一体，职业教育特色明显，实用性强。该教材不仅丰富了汽车专业日语教学素材，也为高职高专应用日语教学改革提出了重要参考。

我为参与本书编写的专家和教师们的付出而感叹。有他们的智慧和奉献，有他们在高职高专教育第一线的执著和探索，我相信我们高职高专的应用日语教育一定会更快发展，我们的高职人才素质一定会越来越高。感谢所有为这本书做出努力的人！

广州外语教育协会委员
广州番禺职业技术学院首届教学名师
刘春林教授

编写说明

《实用汽车日语》教材的编写本着服务高职教育，立足于高职院校日语教材改革，力求创新的总体思路，编写和出版具有高等职业教育自身特色的教材。

本教材由三部分组成，第一部分是汽车文化，第二部分是汽车构造，第三部分是在粤日系汽车介绍。第一部分共有 10 章，包括行业历史、行业文化、产品名录、协会动态、行业展会、名企风采、市场分析、热点聚焦、时尚先锋和资讯特搜。这 10 个单元围绕汽车行业，相辅相成，互相关联，力求从不同角度反映汽车行业的发展和特色。第二部分共有 6 章，包括发动机、轮胎、组装、内饰、保修等内容，力求让读者了解汽车方面的专业用语。第三部分对在广州的日系汽车文化有针对性地进行进一步介绍。

本教材内容新颖，专业知识的导入循序渐进，由浅入深。每课的总体框架由三大部分组成，分别是课文（包括新词汇、惯用句）、练习（包括词汇练习、翻译练习、阅读练习）及补充知识即“豆知识”。教材的设计既有语言输入知识也有语言输出知识，读者可以通过“学、做、说”达到掌握行业知识和提高语言技能的目的。

由于大部分日语专业的学生缺乏对汽车行业背景的相关了解，所以建议教师在使用本教材时，授课进度不宜太快，平均每课花 4 学时比较适中，或者根据学生的理解程度，随时对课时进行调整，以保证教学质量。另外，在教学中，最好能适当地给学生播放介绍汽车知识的相关视频，通过视听刺激，促进学生对汽车日语的掌握力度。



本教材既可以作为大学本科和高职院校日语专业和汽车专业的主要教材,也可作为中专、技工学校、职业培训机构、企业员工日语培训的主要教材,还可以作为有志到日系汽车行业工作的日语学习爱好者的参考教材。

本教材编写分工如下:陈要勤负责教材的策划、组织和校对以及第八课、第九课、第十课和第十一课的编写,刘汝衡负责第一课、第三课和第十二课的编写,李佳玲负责第二课、第四课、第五课、第十三课和第十五课的编写,王珏负责第六课、第七课、第十四课和第十六课的编写;杨敏、陈研菊、陈婷和吴素仪负责日系汽车企业介绍的资料整理和翻译;陈华胜负责中文校对,恩田裕江和清水洋国负责日文校对。

本书在编写过程中得到了刘春林教授的悉心指导,在此表示衷心的感谢。同时感谢武藏精密汽车零部件(中山)有限公司、东风日产乘用车有限公司和广州丰田南沙汽车有限公司等日系企业对本教材的编写提供的支持和帮助。

尽管编者倾心而作,但书中难免有不尽如人意之处,敬请使用本教材的教师和学生提出宝贵意见,以便我们对该教材的内容不断完善。

编者

2010年8月

目 次

第一部 自動車文化

第一課	産業の概要	2
第二課	産業の文化	9
第三課	製品のカタログ	15
第四課	産業協会	22
第五課	展覧会	28
第六課	名社の紹介	35
第七課	市場販売	41
第八課	自動車業界のフォーラム	48
第九課	新型車の紹介	56
第十課	自動車業界の問い合わせ	63

第二部 自動車構造

第十一課	エンジン	72
第十二課	タイヤ（１）	81
第十三課	タイヤ（２）	86
第十四課	組み立て	93
第十五課	車の内装	99
第十六課	車のメンテナンス	107



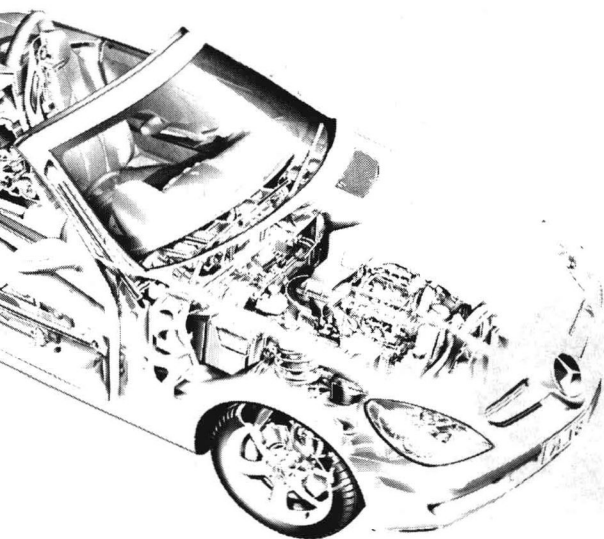
实用汽车日语

第三部 日系自動車企業紹介

トヨタ・カルチャーの“基本中の基本語”	116
東風日産乗用車公司	119
武蔵精密工業株式会社 ムサシフィロソフィー	123
日系汽车企业相关资料译文	128
参考答案	137
専門用語	163

第一部

自動車文化





第一課 産業の概要

自動車の起源

何の起源でもそうであるが、自動車の本当の起源というのも確かなことを言うのは難しい。アイデアだけなら13世紀の哲学者の著述にも見られるし、15世紀になるとイタリアのダビンチ（達・芬奇）などによって具体的なアイデアが絵に描かれている。その後も色々な試みが行われており、1649年にはドイツの時計職人がゼンマイで小さな荷車を動かすことを考えている。完全に自力で動く自動車が登場したのは18世紀のイギリスであるだろう。当時のイギリスは産業革命で世界の産業の先端であった。「石炭」という新たな資源が登場し、蒸気機関が工場の産業機械の動力として活用されるようになって、蒸気機関が自動車の新たな原動力として注目を浴びる。蒸気自動車が登場して約1世紀経った1886年、現



在路上を走るガソリン自動車が登場した。この車はそれまであった「クルマ」という技術を総結集させ、完成したものである。しかし、19世紀後期は、かつての「蒸気自動車」、新たな「ガソリン車」、さ

らに「電気自動車」という3つの選択肢があった。この時代から、徐々に「自動車」という新たな移動手段が注目され、日々新たな技術が生れ

るようになる。中には 4 輪自動車、ハンドルなど今の車では常識となっているこの技術もこの時代に発明された。第二次世界大戦という暗い時代を経て、訪れた平和な世界。人々は産業を活性化させ、各国の自動車メーカーも競うように新技術・新車の開発に力が入るようになった。現代社会は自動車をなくしてはもはや語れないと言っても過言ではないが。21 世紀に入り、「自動車業界は大きなターニングポイントを迎えている」という。自動車デザイナーに求められる要素はますます増えつつあり、単に技術のパッケージとしてデザインを行う時代は終わった。環境、省エネ、テクノロジー、都市の景観など、あらゆる背景を考慮しながらデザインするかは、デザイナーにとって大きなチャレンジとなっている。

(<http://www1.parkcity.ne.jp/h-sugqr/history.html>より)

新しい言葉

1. アイデア [idea] (名詞) 理想, 理念; 想法, 打算

例: すばらしいアイデアが浮かびました。想出一个好主意。

2. こころみ [試み] (名詞) 尝试, 实验

例: 新しい試み。新的尝试。

3. ゼンマイ (名詞) 发条, 弹簧

例: ぜんまいを巻く。上弦。

4. うまれる [生れる] (下一自動詞) 出生, 诞生; 产生, 出现

例: 新しい国が生まれた。新的国家诞生了。

子供が生まれた。生了孩子。

5. きそう [競う] (五自動詞) 竞争, 争夺, 竞赛

例: 先を競う。争先。

6. ターニングポイント [turning point] (名詞) 转折点

例: 現在は歴史のターニングポイントにある。现在处于历史的转折点。

7. もとめられる [求められる] (下一段他動詞、求めるの受身形) 征求; 要求; 寻求

例: 意見をもとめる。征求意见。



实用汽车日语

.....

8. パッケージ [package] (名詞) 包装

例: 商品のパッケージがしっかりしている。 商品的包装很结实。

9. デザイン [design] (名詞, サ変他動詞) 设计, 图案

例: あたらしいポスターのデザインをつくる。 设计新广告的图案。

ファッションをデザインする。 设计时装。

10. チャレンジ [challenge] (名詞, サ変他動詞) 挑战

例: チャレンジラウンド 决赛

将来にチャレンジする。 挑战未来。

慣用句

1. 活用されるようになった: 可以充分利用

2. 注目を浴びる: 引人注目

3. 3つの選択肢があつた: 有三种可以选择

4. 力が入る: 出力, 用力; 投入精力

5. ～と言つても過言ではない: 即使那样说也不为过

一、言葉の練習: 下記の空欄に適切な単語を入れ、必要があれば、形を変えてください

ア: アイデア	イ: 試み	ウ: ゼンマイ	エ: 生れる	オ: 競う
カ: 求められる	キ: ターニングポイント	ク: パッケージ		
ケ: デザイン	コ: チャレンジ			

1. 今日はピクニックに行きたいが、あなたの _____ はどうでしょうか。

2. あの古い時計が動かないので、その _____ を巻いて下さい。

3. 歴史の _____ に中国共産党は革命を救う。

4. いろいろな方法を _____ にしていた。

5. どちらが先に仕上げることができるかを _____。

6. 解決策を _____。

7. _____ をはずして、中身を見ます。

8. _____ が素晴らしいですが、色が少しはすぎる。

9. 彼は美しい海辺の町に_____。

10. 新記録へ_____する。

二、翻訳

1. 世界中のあらゆる都市において、いまや当たり前のように存在している自動車はもはや私たちの生活に欠かせないものとなっている。
2. 自動車のない生活など想像もつかない、という方も少なくないのではないだろうか。自動車が趣味、という方も多い。かつていい車乗り回し羨望の眼差しを浴びることが快感、という方もいることだろう。
3. 自動車は生活必需品であり、趣味であり、ロマンなのだ。誰もその恩恵を一度は受けているであろう。かつては人々の憧れであった「自動車」も、今や誰もが所有し、気軽に移動する手段のひとつと化している。私たちの良きパートナー、それが自動車なのだ。
4. 日本車はその性能の良さから、日本国内のみならず外の国でも広く普及しており、日本が誇る産業のひとつが自動車産業でもある。そして時は流れ、車が誕生して 100 年以上経た現在、世界は環境対策に重点を置いている。
5. 各メーカーが排ガス低減車を作り、世界各国で環境にやさしいクルマが注目されている。今後は環境に対する規制が増え、また人々の関心もますます高まってゆくことだろう。環境・人間・車の三者がうまく共存できることを課題に、車の歴史は今現在も発展を続けているのだ。

A. 下記の文章を中国語に訳してください。

1. 世界中のあらゆる都市において、いまや当たり前のように存在している自動車はもはや私たちの生活に欠かせないものとなっている。
2. かつては人々の憧れであった「自動車」も、今や誰もが所有し、気軽に移動する手段のひとつと化している。
3. 日本車はその性能の良さから、日本国内のみならず外の国でも広く普及しており、日本が誇る産業のひとつが自動車産業でもある。



实用汽车日语

.....

4. 各メーカーが排ガス低減車を作り、世界各国で環境にやさしいクルマが注目されている。
5. 環境・人間・車の三者がうまく共存できることを課題に、車の歴史は今現在も発展を続けているのだ。

B. 下記の文章を日本語に訳してください。

1. 過去、车用轮胎是实心轮胎（ソリッドタイヤ）。由于这种轮胎比较硬，所以坐在车上感觉不舒服，因此开发出像现在这样的、乘坐舒适的空气轮胎。但是在当时，这种空气轮胎经常会爆胎，经过反复多次的研究才生产出现在这样的轮胎。
2. 一种新车的生产计划，如果从制作完成时推算，一般大约从3～4年前就开始着手。要考虑制造什么样的车、作什么用途，并收集人们的喜好和生活状况等情报。
3. 新型车计划，经过多次性能测试才能在工厂生产。一台车的最后完成要经过锻压、焊接、喷漆、安装和检查5个工序，历时约20小时。
4. 但是，一台车由3万多个零部件构成，如果把每一个零件的生产时间计算进去的话，要花相当长的时间。

三、演説のトピック

問題1: 車の歴史について、何が分かりますか。

問題2: 世界ではじめの車はどんな形でしょうか。

問題3: いつ、自動車が始めてできたのでしょうか。

問題4: 現在の自動車産業が考えるべき問題は何でしょうか。

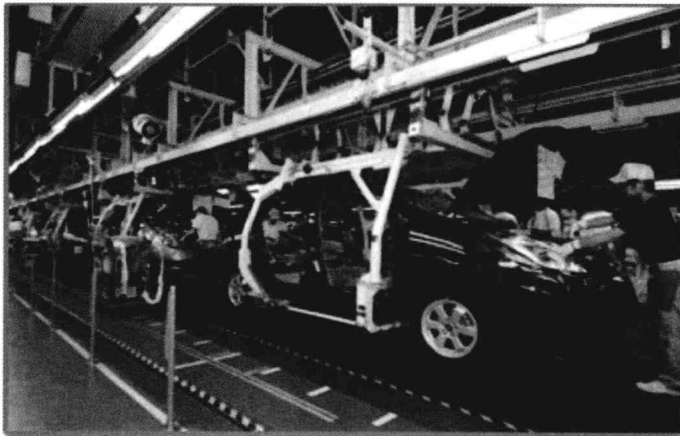
問題5: あなたの最も好きな自動車タイプは何ですか。

四、読解文

下記の文章を早く読み、その質問に答えてください。

今から約220年以上昔の1769年、フランスのキユニヨーがパリの街を蒸気エンジンのクルマで走ったのが実用車のはじめだと言われています。その後1886年にドイツのベンツが世界初のガソリン自動車である3輪自

自動車をつくりました。このクルマをきつかけに、あつかいやすく長い距離を走れることから、ガソリン自動車が主流になっていきます。日本では1904年に山羽虎夫が蒸気自動車を走らせたのが最初です。最初に車ができたら、ハンドルは丸型ではなく、棒状のハンドルでした。クルマは、鉄・アルミニウム・銅・ガラス・ゴム・繊維など様々な材料からできています。それぞれの原材料は、原材料生産会社で、クルマの部品をつくるのにふさわしい材料に加工された後、それぞれの部品生産会社や自動車会社に運ばれます。そこでクルマの部品を生産し、それらの部品を車体に組付けてクルマが完成します。クルマは、ちゃんと手入れをすれば、何十年でも走ることができます。乗用車の場合、約10年くらいで廃車になってしまいます。廃車になったクルマは、リサイクルされ、新車の部品などに生まれ変わっているのです。



質問

問題1: 世界初のガソリン自動車はフランスのキュニヨーが作りましたか。

問題2: はじめの自動車のハンドルはどんな形ですか。

問題3: 車はどんな材料を使っていますか。

問題4: クルマはだいたい10年以上も走れるのは正しいですか。



◎豆知識

自動車の分類は、乗用車、貨物車、特殊作業車に分類することができる。乗用車は人員を輸送するための自動車であり、自動車の中では最も数も種類が多い。貨物車は自動車の大部分の容積を占める貨物室や、貨物台を備えており、貨物の輸送を前提に作られたものである。特殊作業車は、各種の仕事に応じて専用で作られた自動車であり、例えば土砂を掘削するためのショベルカーや、アスファルトの舗装を行うためのロードローラーなどがこれに含まれる。特殊作業車は、黄色や緑などの派手な色で塗装されることが多い。

(<http://ja.wikipedia.org/wiki/>より)